

このスポット・おすすめ!

旨辛いスパイスの魔法から
あなたはもう逃れられない...!
YOMITAN 魔女カレー 恵庵



**全席オーシャンビュー
食事は自家製サラダ付き**

海が見えるカレー屋さん。読谷村長浜の高台に、今年1月26日にオープンしました。全10席ほどのコンパクトなお店ですが、店内は全面ガラス張り、開放感あふれる眺めも爽やか。刻々と移り変わる海の色を眺めながら、さっそく運ばれてきたカレーをいただきます。

1口目「コブと辛みのバランスが絶妙!トトロ口食感のお肉も美味!」
2口目「ちよっと辛くなってきたぞ。自家製ピクルスと葉野菜のサラダで口休め!」
3口目「...無言!」

顔から体から汗が噴き出し、何度か鼻をかむあなたの姿を見て「コレ、今更にもう魔法にかかったよ!」と厨房でほくそ笑む魔女のシェフ...がいるかどうかはさておき、それでも食べ進める手を止められないのは、辛さの中にしっかりとスパイスの旨味が効いている証。セットに付くサラダの野菜の甘さと、自家製ドレッシングのまろやかな風味が、ほてった舌と体を冷ましてくれます。

メニューはともにもシンプルで、「魔女カレー」にサラダ&ドリンクが付いてちょうど1,000円。どうしても辛いのが苦手な方は、辛さを抑えた「小魔女カレー」からチャレンジしましょう。特製魔女ソースを使ったピリ辛の「タコライス」もあります。

ウインズだけの極秘情報ですが、実はお店の魔女はとってもおしゃべり好き。お客さんの状況次第では、一緒に魔女トークを楽しめるかもしれません。

住所：読谷村長浜789-1
電話：098-989-1981
時間：10:30～完売次第閉店
休み：月・火曜日
(但し模合などの予約は応相談)
駐車：あり

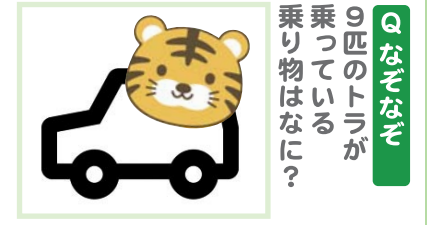
【メニュー】
お食事セット...1,000円
(サラダ・ドリンク付き、大盛りはプラス100円)
* 魔女カレー
* 小魔女カレー
* タコライス



読者 答えて

なぞなぞに ♪プレゼント♪

このスポット・おすすめコーナーで紹介の『YOMITAN 魔女カレー 恵庵』で使える



3月号当選者 前号の答え(3個)

- ★谷口 恵美子さん(読谷村在住)
- ★上原 茜さん(沖縄市在住)
- ★長浜 順子さん(読谷村在住)

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

宛先 読谷村字伊良皆237-1 ウインズ『広報誌係』

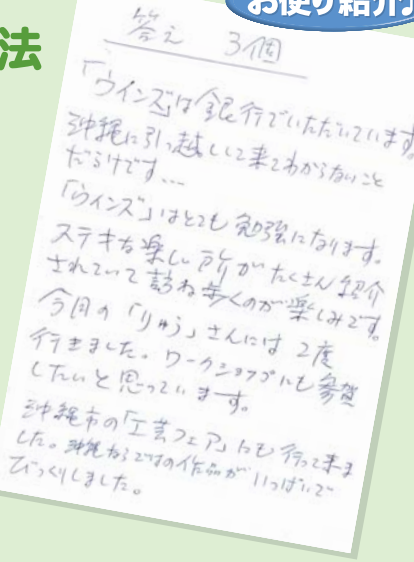
①住所 ②氏名
③年齢 ④職業
⑤電話番号

裏 ⑦ご意見 ⑧ご感想

応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り 2019年4月20日消印有効
「当選者は次号(Vol.176)にて発表致します」

『Freshウインズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウインズ広報誌係)



Fresh ウインズ

人と人とのつながりを大切に...池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌



【表紙：ヒスイカズラ(翡翠葛) / 読谷村字高志保】



↑那覇市 役場 嘉手納町 名嘉病院 比嘉川 読谷高校 ファマリート おきなわ 養蜂所 道の駅 読谷名産所

↓沖縄市 大湾 伊良皆 名護市

(株)池原建設 企画事業部ウインズ
〒904-0303 沖縄県読谷村字伊良皆 237-1
営業時間 / 9:00～18:00 (年末年始を除く)

住宅のメンテナンスや
補修等のご相談は、お気軽に
スタッフへお声掛け下さい!

☎0120-229-512 ウインズ 池原建設 検索

今月の歳時記

- 4月7日(日) 残波ビーチ海開きスペシャルサンクスデー
会場・開催地/読谷村・残波ビーチ
- 4月13日(土) JAL PRESENTS 第16回琉球海炎祭2019
会場・開催地/宜野湾市海浜公園
- 4月18日(木)～21日(日) 島ぜんぶでおきな祭 第11回沖縄国際映画祭
会場・開催地/波の上みそら公園ほか県内各地
- 4月27日(土)～5月6日(月) 沖縄こどもの国フェスティバル2019
会場・開催地/沖縄市・こどもの国

フレッシュな空気のみなぎる新年度の到来もつかの間、今月末には最長10連休(4月27日～5月6日)の超大型ゴールデンウィークが控えています。以前に「GWの旅行先は沖縄が人気」とのニュースがあったように、連休中はどこも混雑が予想されますね。

4月は県内各地のビーチで海開きが本格化。長い夏の始まりです。



Smile Vision!

池原建設「ウィンズ」の家づくり・読谷村Rさん宅の事例紹介

一人一人の、二つ二つの対応の積み重ねが満足度に繋がると実感



■施主のRさんご夫妻(写真右上)と一緒に、担当した池原建設スタッフ一同で記念撮影。家族同然に接していただき、むしろ私たちがたくさんの方の事を教えてもらった気がします

今月は私たち池原建設がお手伝いした家づくりの事例をご紹介します。「思い描いていた以上の仕上がりで大満足。依頼して本当に良かった」と大喜びしてくれた施主のRさん。プランの打ち合わせ中も施工中でも、それぞれの担当者が信頼関係を築けたことが大きな要因と考えますが、目に見えるデザインや住宅性能といった枠を超えて、「喜び・感動」を提供するには何が大切なのか、少し客観的に振り返ってみたいと思います。

出会い・契約

人柄重視の会社選び
Rさんとの最初の出会いは、ウィンズの事務所でした。直接来社されて、「80代の両親2人が住む家を建てる予定なんです」と相談を受け、予算や間取りの要望など基本的な条件を簡単に伺いました。池原建設についてはホームページを見てこれまでの実績を調べ、「好みの作風が多いかも」と目星をつけ

施工・引き渡し

経営理念を現場で実践

最終的なプランがまとまるまでの間には、Rさんと確かな信頼関係を築けていたとの実感が私たちにもありました。その流れはおのずと建築現場にも引き継がれ、Rさんの温かな心遣いの下、建設事業部のスタッフも他の職人からも気持ちよく仕事をすることができました。「工事関係者全員が一体となって、最初から最後まで気を抜くことなく丁寧に施工してくれました。現場はいつもきれいに片付いているし、皆顔を合わせれば向こうから笑顔であいさつしてくれて、気持ちよかったですね」。

日頃から十分にコミュニケーションを取っていたため、Rさんが望む細かなニーズもくみ取ることができ、それが施工品質にダイレクトに反映。そうした一つ一つの結果が積み重なって、満足度のアップにつながっていったのかもしれない。「家づくりで会社選びを行う際は、信頼・コスト・提案力・住宅性能といった要素はどれも欠かせないものだと思います。その点で私は、すべてお膳立てされた会社と出会うことができ、それぞれの希望を

実現していただくことができました。思い描いていた以上の仕上がりで大満足。依頼して本当に良かった」と大喜びしてくれた施主のRさん。プランの打ち合わせ中も施工中でも、それぞれの担当者が信頼関係を築けたことが大きな要因と考えますが、目に見えるデザインや住宅性能といった枠を超えて、「喜び・感動」を提供するには何が大切なのか、少し客観的に振り返ってみたいと思います。



■Rさん宅ファサード。白を基調にしたシンプルモダンなデザイン



■LDKと和室。普段は襖を開け放して一続きで利用しています

現できてラッキーでした」と話してくれたRさん。私たち池原建設では、経営理念として「最高の喜びと感動のおもてなしを実現します」というフレーズを掲げていますが、今回のRさん宅ではその理念を無意識のうちに実践できていたとしたら、これ以上の喜びはありません。

担当スタッフの声

営業・仲西明日香

設計・喜友名勝志

現場代理人・真栄喜憲市

今までたくさんの方の住宅建築を担当させていただきましたが、Rさんのように「両親のために家を建てる」のはとても珍しいケース。そんな親孝行なRさんの思いに込めるべく、私たちも心を込めてそれぞれ担当の仕事に取り組みました。

Rさんはとても明るく気さくな方で、打ち合わせのときはいつもウィンズに笑顔が満開。ご自身の生い立ちや、ご主人との馴れ初め話(内緒だったでしょうか?)なども気兼ねなくお話しいただき、毎回ワクワクさせてもらいました。また担当スタッフ全員をお招きいただいた新築祝いはじめ、その時々の方々の数々のおもてなしに心が温まりました。

家づくりの期間中、私たちに掛けていただいた激励の言葉は恐縮するほど。でもその度に、池原建設という会社を誇りに思い、自信が芽生え、この仕事に対する情熱とやりがい向上しました。Rさんからの評価に恥じないよう一人一人がもっと成長し、新居での快適な暮らしをサポートしていきたいと思えます。

プランニング

外部の人と関わりやすく

Rさんから依頼を受けた新居は、ほぼ正方形をした建坪約33坪の平屋です。間取りは4LDKですが、そのうち2つの個室は「将来のライフスタイルの変化に応じて、賃貸にも出せるように」と用意した。現在はLDKと寝室、和室だけを実質使用し、水回りを含めて生活動線が一続きにコンパクトにまとまっているので、高齢のご両親でも無理なく生活できています。



■2つの個室は可変式。必要に応じて間仕切ることができます

「具体的な打ち合わせに入ってから、一方的に話を進めることが一切なく、私たちの立場になって親身に考えていただき、納得のいくプランを提案してもらいました。実

際の住み心地も想像以上で、両親もとても喜んでいました」とRさん。
今回のプランで目指したのは、近所に住むRさんら親類たちとの「関わりやすさ」。以前までご両親が暮らしていた家は、玄関から廊下を進んだ奥に居間があり、Rさんたちが用事があるときはいちいち玄関から「おーい」と大声で呼ぶ必要がありました。しかし今度は玄関手前のポーチからでも、リビングの窓を通して室内を確認でき、家の中に入らずご両親の様子に分かるから安心。またご両親本人にとっても、敷地内であれば家の外であろうがお互いの気配を感じられるので、常に「見てくれていて」という安心感を持って生活できます。
このほか駐車場の位置を工夫して、屋外に造作したパーベキユースペースは、「片付けの手間が要らないし、わが家にもほしい」と親類たちから大好評。インテリアのクロスなどはRさんのセンスを生かし、スタイリッシュにコーディネートしました。
「私が選んだものなのに、わが家はこんな素敵になって見違えたわ!と自慢してくるんです(笑)」。

実現していただくことができました。思い描いていた以上の仕上がりで大満足。依頼して本当に良かった」と大喜びしてくれた施主のRさん。プランの打ち合わせ中も施工中でも、それぞれの担当者が信頼関係を築けたことが大きな要因と考えますが、目に見えるデザインや住宅性能といった枠を超えて、「喜び・感動」を提供するには何が大切なのか、少し客観的に振り返ってみたいと思います。



■Rさんこだわりのパントリーは、棚の位置も自由にアレンジ可能
■時には現場で手書きの図面を作成し、イメージのすり合わせを行いました